

信仰への道と葛藤

- アウグスティヌスの自伝的作品



- 人生を振り返る
  - 神との関係を探求
  - マニ教を学ぶ ⇒ 心が空虚に
- 読み継がれる理由 → 真理を求める共通の普遍性

時間と記憶の哲学



- 時間とは
  - ✅ 過去は「記憶」として存在する
  - ✅ 現在は「注意」によって捉えられる
  - ✅ 未来は「期待」として存在する
  - ✅ 時間は魂の「引き延ばし」である
- 世界に客観的に存在しない → 心の中で作られる

罪と恵みの神学



- 若い頃に窃盗した話
  - お腹が空いていたわけでもない
  - 「悪そのもの」を好んだから
- 自分の力だけでは良い行いができない → 神の恵みが必要
- 「恵みの神学」として後世に大きな影響